1. 平成25年第4回郡上市議会定例会議事日程（第5日）

平成25年10月3日 開議

- 日程1 会議録署名議員の指名
- 日程2 議案第99号 郡上市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程3 議案第100号 郡上市防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程4 議案第101号 郡上市税外収入の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例について
- 日程5 議案第102号 郡上市税条例の一部を改正する条例について
- 日程6 議案第103号 郡上市火災予防条例の一部を改正する条例について
- 日程7 議案第104号 郡上市農業委員会の選挙による委員の定数条例の制定について
- 日程8 議案第105号 郡上市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程9 議案第106号 郡上市簡易水道等事業給水条例等の一部を改正する条例について
- 日程10 議案第107号 郡上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 日程11 議案第108号 郡上市介護保険条例及び郡上市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程12 議案第109号 平成24年度郡上市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程13 議案第110号 平成24年度郡上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程14 議案第111号 平成24年度郡上市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程15 議案第112号 平成24年度郡上市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程16 議案第113号 平成24年度郡上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程17 議案第114号 平成24年度郡上市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程18 議案第115号 平成24年度郡上市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程19 議案第116号 平成24年度郡上市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程20 議案第117号 平成24年度郡上市宅地開発特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程21 議案第118号 平成24年度郡上市青少年育英奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程22 議案第119号 平成24年度郡上市鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定につ

いて

- 日程23 議案第120号 平成24年度郡上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程24 議案第121号 平成24年度郡上市大和財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程25 議案第122号 平成24年度郡上市白鳥財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程26 議案第123号 平成24年度郡上市牛道財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程27 議案第124号 平成24年度郡上市北濃財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程28 議案第125号 平成24年度郡上市石徹白財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程29 議案第126号 平成24年度郡上市高鷲財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程30 議案第127号 平成24年度郡上市下川財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程31 議案第128号 平成24年度郡上市明宝財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程32 議案第129号 平成24年度郡上市和良財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程33 議案第130号 平成24年度郡上市水道事業会計決算認定について
- 日程34 議案第131号 平成24年度郡上市病院事業等会計決算認定について
- 日程35 議案第141号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内①）
- 日程36 議案第142号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内②）
- 日程37 請願第2号 消費税増税の実施中止を求める請願
- 日程38 陳情第1号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について
- 日程39 陳情第2号 原発事故・子ども・被災者支援法に関する陳情書
- 日程40 陳情第3号 免税軽油制度の継続を求める陳情書
- 日程41 議発第10号 議員派遣について
- 日程42 議発第11号 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査及び常任委員会の閉会中の所掌事務調査について
- 日程43 議報告第8号 諸般の報告について
- 日程44 議報告第9号 中間報告について

2. 本日の会議に付した事件

日程1から日程44まで

- 日程45 議発第12号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書について
- 日程46 議発第13号 免税軽油制度の継続を求める意見書について
- 日程47 議発第14号 地方税財源の充実確保を求める意見書について

3. 出席議員は次のとおりである。(18名)

1番	山 川 直 保	2番	田 中 康 久
3番	森 喜 人	4番	田 代 はつ江
5番	兼 山 悌 孝	6番	野 田 龍 雄
7番	鷺 見 馨	8番	山 田 忠 平
9番	村 瀬 弥治郎	10番	古 川 文 雄
11番	清 水 正 照	12番	上 田 謙 市
13番	武 藤 忠 樹	14番	尾 村 忠 雄
15番	渡 辺 友 三	16番	清 水 敏 夫
17番	美谷添 生	18番	田 中 和 幸

4. 欠席議員は次のとおりである。(なし)

5. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	日 置 敏 明	副 市 長	鈴 木 俊 幸
教 育 長	青 木 修	市長公室長	田 中 義 久
総 務 部 長	服 部 正 光	総務部付部長	武 藤 隆 晴
健康福祉部長	羽田野 博 徳	農林水産部長	野 田 秀 幸
商工観光部長	山 下 正 則	商工観光部付部長	水 野 正 文
建 設 部 長	武 藤 五 郎	環境水道部長	平 澤 克 典
教 育 次 長	細 川 竜 弥	会 計 管 理 者	三 島 哲 也
消 防 長	川 島 和 美	郡上市民病院 事 務 局 長	猪 島 敦
国保白鳥病院 事 務 局 長	藤 代 求	郡 上 市 代 表 監 査 委 員	齋 藤 仁 司

6. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長	池 場 康 晴	議会事務局 議会総務課長	丸 井 秀 樹
議会事務局 議会総務課長 補 佐	河 合 保 隆		

◎開議の宣告

○議長（清水敏夫君） それでは、改めて、おはようございます。

議員の皆様には、9月9日開会以来、それぞれの執務、御苦勞さまでございます。いよいよ最終日を迎えることになりました。よろしく御審議をいただきますようお願いいたします。

ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付してありますのでお願いいたします。

（午前 9時33分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（清水敏夫君） 日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第88条に規定により、会議録署名議員には、5番 兼山悌孝君、6番 野田龍雄君を指名いたします。

◎議案第99号から議案第108号までについて（委員長報告・採決）

○議長（清水敏夫君） 日程2、議案第99号 郡上市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例についてから、日程11、議案第108号 郡上市介護保険条例及び郡上市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例についてまでの10議案を一括議題といたします。

ただいま一括議題としました10議案は、各常任委員会に審査を付託してあります。委員長より審査の経過と結果についての報告を求めます。

初めに、総務常任委員長、8番 山田忠平君。

○8番（山田忠平君） おはようございます。そうしましたら、総務常任委員会の報告をさせていただきます。

平成25年第4回の郡上市議会定例会において審査を付託されました条例議案5件について、9月26日、総務常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について報告をいたします。なお、経過につきましては、主な内容を報告いたします。

条例議案。

議案第99号 郡上市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例について。

市長公室長から、地方公務員法の一部改正に伴い、高齢者部分休業を取得できる年齢要件を55歳からとするとの説明を受けました。

委員から、これまでの取得実績について質問があり、地域での活動やボランティアは、年次休暇やボランティア休暇でも対応できるため、これまでに取得された実績はない。今後は、職員組合にも周知していくとの説明がありました。

期間を定年退職日までの5年間から、55歳以降定年退職日までに改正することについて質問があり、休業の対象となる高年齢職員については、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律及び同法施行規則において、55歳以上とされていることを踏まえた年齢とすることが適当であるとする。総務省通知を受けて決定したものである。55歳という年齢に固定すれば、今後、段階的に定年延長が実施されるようなことになった場合においても、混乱しないことや定年が65歳になっている医師などとも、平等な取り扱いになるとの説明がありました。

期末勤勉手当への影響について質問があり、育児部分休業などと同様で、一定の要件に当てはまる場合には、高齢者部分休業で欠勤した時間を日に換算し、休業期間に応じた期間率を掛け、期末勤勉手当を減額して支給するとの説明がありました。

また、部分休業の取得が5分単位となっていることについて質問があり、仮に午後4時から終業時間まで高齢者部分休業を取得した場合は1時間15分の休業となるなどの場合を想定しているとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案どおり可とすることに決定をいたしました。

続きまして、議案100号 郡上市防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について。

総務部長から、防災行政無線の整備に伴い防災行政無線通信施設の名称及び設置場所を改めるとの説明を受けました。

委員から、無線機のバッテリーの寿命について質問があり、規格では3年から5年ということになっているが、毎年保守点検を行っており、性能の落ちているバッテリーについては入れかえをしている。重要度が高いものから順次入れかえをしていくとの説明がありました。

中継局の名称を平仮名にしていることについて質問があり、無線許可が必要な中継局等については原則平仮名表示にしなければならないためであるとの説明がありました。

また、移動局が大和町と美並町に設置されたことによる効果についての質問があり、これまでの移動系無線の未整備地域や周波数が違っていたため全地域との通信ができなかったが、これからは地域の情報が本部で同時に確認できる。このため、警戒体制時における迅速な情報収集と災害時等における対応に効果があるとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

続きまして、議案第101号 郡上市税外収入の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例について。

総務部長から、延滞金の割合を引き下げる特例を設けるとの説明を受けました。

委員から、平成24年度の税外収入の延滞金徴収の実績について質問があり、制度自体はあるが本

来の額を徴収しようとするときに、延滞金を徴収するとより負担がふえるため徴収していないとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

続きまして、議案第102号 郡上市税条例の一部を改正する条例について。

総務部長から、納税義務者が市外へ転出しても、公的年金から個人住民税を特別徴収できること、年金所得に係る仮特別徴収の算定方法を見直すこと等について、地方税法が改正されたため郡上市税条例を改正するとの説明を受けました。

委員から、転出すると普通徴収に切りかわっていたものを特別徴収で継続することになったことについて質問があり、年度の途中で転出しても当年度の納付先は郡上市であるため、納税者の利便性と事務の効率化の観点から特別徴収を継続するよう改正するとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

続きまして、議案第103号 郡上市火災予防条例の一部を改正する条例について。

消防長から、消防法施行令の検定対象機械器具の範囲を規定する条項が改正されたため引用する条項を改めるとの説明を受けました。

委員から、設置が義務づけられたことによる普及率について質問があり、住宅には住宅用火災報知設備と住宅用火災警報器のどちらかを設置してもよいことになっているが、設置を進めてきた住宅用火災警報器の郡上市の設置率は83.1%と、岐阜県全体で見ても高い設置率になっているとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告をいたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。郡上市議会総務常任委員会委員長 山田忠平。

以上であります。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

続きまして、産業建設常任委員長、15番 渡辺友三君。

○15番（渡辺友三君） おはようございます。それでは、産業建設常任委員会の報告を申し上げます。

平成25年第4回郡上市議会定例会におきまして審査を付託されました条例議案3件について、9月24日に産業建設常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について御報告申し上げます。なお、経過については主な内容を報告いたします。

1、条例議案。

議案第104号 郡上市農業委員会の選挙による委員の定数条例の制定について。

農林水産部長から、郡上市北農業委員会と郡上市南農業委員会の統合により、新たに設置される郡上市農業委員会の選挙による委員の定数を23人と定めるための条例の制定であるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、農業委員の人数が減ることにより、負担がふえ所管範囲が広大となるが農地の把握は可能であるかとの質問があり、現状の委員数から考えると、各地区で1名の減が想定されるが、農地の確認については地区においてそれぞれカバーしていただけると想定している。委員負担が多くならないよう事務局が支援をする。また、申請案件においても、現状を誰もが把握できるように現地写真の添付を義務づけしているとの説明がありました。

農業委員の資格基準についての質問があり、選挙管理委員会委員や教育委員会委員、及び公平委員会委員などの行政委員や公務員法により兼職が禁止されている公務員などは資格を有しないとの説明がありました。

委員の推薦方法について、大選挙区となると推薦が難しくなるが、今までの推薦方法でよいのかとの質問があり、これまで、南・北の範囲内では、それぞれ大選挙区制であったので問題はないと考える。統合後も同様に円滑な選挙が行えるよう、自治会等に十分説明しながら取り組みたいとの説明がありました。

小選挙区にする考えはないかとの質問があり、小選挙区を設けるには基準があり、小選挙区ごとに500ヘクタール以上の農地または600戸以上の農家が必要となる。この基準を満たさない地域が市内に3地域あるため大選挙区としているとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることと決定いたしました。

議案第105号 郡上市非常勤特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について。

農林水産部長から、農業委員会会長及び委員の報酬を改めるための条例で、農業委員会会長の報酬を年額21万6,000円に、委員の報酬を年額18万円に改める。会長については、県農業委員会等の会議出席など、出役も多く、責任も重くなることから委員報酬の1.2倍の額で算出をしたとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、この時期に報酬を上げる理由と、報酬を定めるに当たっての経緯についての質問があり、農地パトロールが義務づけられるなど農業委員の業務は増加しており、統合によりますます多忙となるために業務に見合った報酬としたい。

市の合併当初より報酬についての議論は検討してきたが、今回の南・北農業委員会の統合という契機にあわせて増額することとした。なお、報酬額については、県内市町村や市内の行政委員と比

較検討しながら決定したとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

議案第106号 郡上市簡易水道等事業給水条例等の一部を改正する条例について。

環境水道部長から、地方税法の一部改正する法律が公布されたことに伴い、郡上市簡易水道等事業給水条例を初めとする8つの条例について、延滞金の割合を引き下げる特例を附則に規定するものであるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、延滞金の利率の見直しによる影響額について質問があり、比較することが難しく算出していないとの説明がありました。

また、近年は、現年度分優先で徴収しており、過去1～2年分については延滞金が発生しない場合が多いとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について御報告申し上げます。平成25年10月3日、郡上市議会議長清水敏夫様。郡上市議会産業建設常任委員会委員長 渡辺友三。

以上です。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

続きまして、文教民生常任委員長、9番 村瀬弥治郎君。

○9番（村瀬弥治郎君） おはようございます。それでは、文教民生常任委員会の報告をさせていただきます。

平成25年第4回郡上市議会定例会において審査を付託されました条例議案2件について、9月25日に文教民生常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

条例議案。

議案第107号 郡上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について。

健康福祉部長から、税制改正により上場株式等の配当所得等、一般株式等及び上場株式等に係る譲渡所得等、条約適用配当等に係る課税の特例を設けるなどの所要の規定を整備するとの説明を受けました。

審査の中で、委員会から、税制改正による市民への告知について質問があり、税務署作成の「平成25年度税制改正のあらまし」により一括でPRされている。国民健康保険税条例では附則としての取り扱いであり、地方税制の関係で周知されるものと考えているが、さらなる周知については関係課と検討したいと説明がありました。

税制改正により具体的な影響について質問があり、納税者が申告を選択することにより、国民健康保険税にも若干の影響が生じる可能性があるとの説明がありました。

具体例を示してほしいとの要望があり、上場株式等の配当等の課税が源泉徴収のみであったが、現在と同様に、確定申告をしない方法、分離課税または総合課税により申告する方法の3とおりから納税者が選択できるようになる。

また、申告分離課税の選択により上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能になる場合があるとの説明がありました。

審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

続きまして、議案第108号 郡上市介護保険条例及び郡上市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について。

健康福祉部長から、税制改正により納税者の負担を軽減する観点から延滞金の割合が見直され、介護保険料及び後期高齢者医療保険料に係る延滞金を引き下げるとの説明を受けました。

審査の中で、委員から、特例基準割合が変動するたびに条例改正が必要なのかとの質問があり、条例の改正は必要ないとの説明がありました。

審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。郡上市議会文教民生常任委員会委員長 村瀬弥治郎。

以上でございます。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

報告が終わりましたので、委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 質疑なしと認め、議案ごとに討論、採決を行います。

議案第99号 郡上市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第99号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 異議なしと認めます。よって、議案第99号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第100号 郡上市防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第100号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決

することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第100号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第101号 郡上市税外収入の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第101号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第101号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第102号 郡上市税条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第102号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第102号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第103号 郡上市火災予防条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第103号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第103号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第104号 郡上市農業委員会の選挙による委員の定数条例の制定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第104号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第104号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第105号 郡上市非常勤特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第105号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第105号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第106号 郡上市簡易水道等事業給水条例等の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第106号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第106号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第107号 郡上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第107号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第107号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第108号 郡上市介護保険条例及び郡上市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第108号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第108号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎議案第109号から議案第131号までについて(委員長報告・討論・採決)

○議長(清水敏夫君) 日程12、議案第109号 平成24年度郡上市一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程34、議案第131号 平成24年度郡上市病院事業等会計決算認定についてまでの23議案

を一括議題といたします。

ただいま一括議題といたしました23議案は、決算認定特別委員会に審査を付託してあります。委員長より審査の結果についての報告を求めます。

決算認定特別委員長 11番 清水正照君。

○11番（清水正照君） おはようございます。決算認定特別委員会の報告をいたします。

平成25年第4回郡上市議会定例会におきまして、本委員会に審査を付託されました平成24年度決算認定関係23議案につきまして、9月11日、9月12日及び9月17日に決算認定特別委員会を開催し審査を行いました。委員長に私、清水正照、副委員長に田代はつ江委員を選出後、一般会計においては予算科目の款、項ごとに、特別会計、企業会計においては会計ごとに説明を求め、慎重に審査をいたしましたので報告いたします。なお、全議員参加の委員会ですので詳細な報告は省略し、結果のみ報告いたします。

議案第109号 平成24年度郡上市一般会計歳入歳出決算認定について。

審査の結果、本委員会としては、態度保留者1名を除き全会一致で原案を認定することに決定いたしました。

議案第110号 平成24年度郡上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について。

審査の結果、本委員会としては賛成多数で原案を認定することに決定いたしました。

議案第111号 平成24年度郡上市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第112号 平成24年度郡上市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第113号 平成24年度郡上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、議案第114号 平成24年度郡上市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第115号 平成24年度郡上市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第116号 平成24年度郡上市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第117号 平成24年度郡上市宅地開発特別会計歳入歳出決算認定について、議案第118号 平成24年度郡上市青少年育英奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算認定について、議案第119号 平成24年度郡上市鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定について、議案第120号 平成24年度郡上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、議案第121号 平成24年度郡上市大和財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第122号 平成24年度郡上市白鳥財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第123号 平成24年度郡上市牛道財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第124号 平成24年度郡上市北濃財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第125号 平成24年度郡上市石徹白財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第126号 平成24年度郡上市高鷲財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第127号 平成24年度郡上市下川財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第128号 平成24年度郡上市明宝財産区特別会計歳入歳出決算認定について、議案第129号 平成24年度郡上市和良財産区特別

会計歳入歳出決算認定について、議案第130号 平成24年度郡上市水道事業会計決算認定について、議案第131号 平成24年度郡上市病院事業等会計決算認定について、以上21議案について、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案を認定することに決定いたしました。

以上のとおり報告いたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。郡上市議会決算認定特別委員会委員長 清水正照。

以上でございます。ありがとうございました。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

報告が終わりましたので、委員長報告に対する質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 質疑なしと認め、議案ごとに討論、採決を行います。

議案第109号 平成24年度郡上市一般会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 24年度の決算、一般会計認定に反対の討論を行います。

反対をする第1の理由は、いつも指摘をしておるんですが、普通建設費が非常に多く、一方で、扶助費が少ないということです。これは、他の市町村と比べてみてやや際立っているというように思います。普通建設事業費が、長い間、高い水準で進められてきましたけれども、そうした事業を受けている法人が、その市民税の歳入は少しもふえておりません。むしろ減っているのではないかとこのように思われております。

そういう点で、普通建設事業費が地域経済に与える効果というのは、もう少し考えてみる必要があるのではないかとこのように思っています。

こうした点を見直して、市民の暮らしを守り、安心できる施策を充実することが大切だと考えます。

2つ目の理由は、国保会計の繰り入れが行われておりますが、その内容として、国保会計では、23年度の国保税の引き上げが行われました。それは24年度にも引き継がれておりますが、約10%の引き上げで、2年間で基金積立金が3億円行われております。もちろん、これは24年度で3億円なんですけど、繰り越しやらそういう格好で行ってきておりますが、この23年度の引き上げは、本当に必要だったのかどうか、疑問に感じております。

基金残高、24年度は4億円ほどになっておりますが、その中から国保税の引き下げが可能であったのではないかと考えております。

第3の理由は、入札制度の改善が十分進んでいないことです。いまだに非常に高い落札率の入札もあり、その改善は不十分だと思います。

また、市債残高が非常に高く、これを減額する努力が行われていることは承知していますが、まだまだ残高が多く、今後の取り組みが求められています。

以上の理由から、24年度決算認定には賛成ができません。財政の改善を求め、市民の暮らし優先の市政の実現を願って、一般会計認定に対する反対討論とします。

○議長（清水敏夫君） 賛成討論はありますか。

13番 武藤忠樹君。

○13番（武藤忠樹君） 平成24年度の決算に賛成の立場で討論をさせていただきます。

今、るる反対の理由を述べられましたが、この予算につきましては、昨年3月の議会で予算を承認したものであり、監査委員の報告にもありますが、予算の執行状況は適正妥当でありおおむね初期の目的を達したものと認めるといふ監査委員の報告もあります。

支出に関しましては、予算どおりの執行をされていることを認めましたし、また国保会計につきましては、国保特別会計の税の問題でありますので、一般会計としては基金を繰り入れておる状態で、その中で、平成24年度の速報値でありますけれども、実質公債費比率も1.5ポイント下がり18.5となり、また、将来負担比率も89.3と、非常に健全な財政に向けてのその基礎をつくってみえたと認めておりますので、また、落札、市債の問題もございますけれども、そういったものも一つ一つ健全に向かって進んでみえるものと認め、この平成24年度の決算に賛成をさせていただきますので、議員諸氏の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（清水敏夫君） ほかに討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 討論なしと認め、討論を終結し、採決いたします。

議案第109号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（清水敏夫君） ありがとうございます。賛成多数と認めます。よって、議案第109号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第110号 平成24年度郡上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 国保会計に対する反対討論を行います。

反対をする理由は、国保税の負担が非常に高いという問題です。23年度に約10%引き上げられました。約1億円ちよっとの負担増があり、市の一般会計からの繰り入れも含め、約2億円の歳入増があったわけですが、医療費の支出が予想より少なかったため基金からの繰り出しも行われず、

3億円の繰り越しが行われました。

この段階で基金は1億2,500万円ちょっととなっていました。この24年度についても国保税の見直しは行われず、決算で約3億円の基金積立が可能となりました。国保税の引き上げが行われたのに、それは基金積立に回っており、国保税の負担が重いと感ずる市民の気持ちから考えると問題だというように思います。

国保税の引き上げは、この基金を使えば可能であり、また、そのことによって市民の暮らしを応援し、こうした滞納等も少しでも減らすことができると思います。同時に、国の補助率を引き上げるよう強く求めるべきだと考えております。

そういった理由から、国保会計の一層の市民本位の運営になることを願って、国保会計決算の認定に反対をいたします。

○議長（清水敏夫君） 賛成討論はありますか。

15番 渡辺友三君。

○15番（渡辺友三君） それでは、国保特別会計の賛成討論をさせていただきますが、ただいま6番議員のほうより、国民健康保険特別会計については、繰入金等の問題、それを基金に積み立てるのではなくて、その分を医療費に回せというようなことから反対であるというようなことが討論としてございましたけれども、これ平成22年からですけれども、当時に、この23年に値上げをするというような段階で議会へお諮りしましたときも、あのときは金額を示すのでなしに、こういうことで、今、現状を説明し値上げ必要であると、そしてまた、一般会計からも法定の繰入金以外にも、法定外の繰入金も必要である。

それはなぜかという、安定した国保運営をしていくために、そして毎年毎年、こうした議論をするのでなくして、一定の期間の、あの当時では、市長、たしか平成25年の会計までと言われたと思いますけれども、それくらいは安定した国保運営をしていくために必要であるというようなことをお諮りしましたけれども、その時点では全会一致で賛成をさせていただいたと考えております。

その後の値上げの条例に関しては1名の反対がございましたけれども、そんなことを覚えておるような状況でございますが、郡上市の医療費、決して今、基金積立ができるでいいのではないかとというようなお話でありましたけれども、実質の収支を見ますと、平成22年、23年、そして今年度24年におきましても、全てマイナスであります。決して安定した国保運営ができているというようなことではございません。

平均で10%の国保税の引き上げと、そして、保険者の負担を最小限に抑えるためには、一般会計から1億円の保険税負担緩和分として法定外で繰り入れをするというようなことで、それでもって国保運営の安定を図るとして、当時、皆さん方に御承認いただいて予算化したところでありますけれども、今、日本において国民皆保険のもとで、どこでも安心して医療にかかれる状況がござい

ます。

しかし、国保加入者の中には、長引く不況で離職または無職、高齢者や生活困窮者も多くあり、保険税の増収も望めず減収するのが現状の中でありますが、高齢化のより進む現在、近年の不安定な気象状況の続く中で、インフルエンザ等、流行性の病による医療費の高騰も視野に入れておかなければならないような状況であります。

この安定した国民健康保険の運営を行うためには、最低でも、今言われておりますように、2カ月ぐらいの基金を持ち得ることが必要ということで、今、3億円積んで4億円になるんでないかというような御意見でございましたけれども、この4億円、決して多くない額だと、たかだか2カ月ぐらいの医療費しかもたないような状況の中でございますので、決して、国民健康保険特別会計が市民に負担になつとるばかりとは考えられません。

安心して医療にかかれる。こんな状況をつくり出すためには、この基金繰出も絶対に必要であろうかということでございますので、議案109号の平成24年度郡上市国民健康保険特別会計に関して賛成するものでございますので、議員諸氏の御賛同をお願いいたします。

以上です。

○議長（清水敏夫君） ほかに討論はありますか。

4番 田代はつ江君。

○4番（田代はつ江君） 渡辺委員に続いて賛成の討論を簡単に述べさせていただきます。

このたびの決算認定は、ただいま委員長報告でありましたように、その収支決算は、3億円の基金積立をした上で、さらに歳入歳出の差し引き額が4,000万円余の黒字ということであります。このような決算に至ったことは、23年度の思い切った決断が、まさに功を奏した結果と受けとめております。

昨今の医療費は、上がり下がりを繰り返しながらも、少しずつ医療費は上昇していく状況は避けられません。今回、3億円の基金を積み立てることができ、基金の保有残高が4億2,500万円となったとはいえ、それでも、この基金の額は、郡上市の国保におきます給付費の2カ月分にもならないということについては認識しておかなければならないことです。

そういった意味においても、第1に医療費の抑制のために特定健診の受診率の向上を目指すなど、市民の健康増進の施策に、なお一層尽力していただくとともに、負担の公平性という観点から、さらなる収納率の向上に努めていただくことをお願いし、本議案に賛成をするものであります。議員各位の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（清水敏夫君） ほかに討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 討論なしと認め、討論を終結し採決をいたします。

議案第110号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(清水敏夫君) ありがとうございます。賛成多数と認めます。よって、議案第110号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第111号 平成24年度郡上市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第111号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第111号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第112号 平成24年度郡上市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第112号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第112号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第113号 平成24年度郡上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第113号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第113号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第114号 平成24年度郡上市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第114号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第114号は原案のとおり認定することに

決定いたしました。

議案第115号 平成24年度郡上市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第115号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第115号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第116号 平成24年度郡上市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第116号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第116号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第117号 平成24年度郡上市宅地開発特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第117号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第117号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第118号 平成24年度郡上市青少年育英奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第118号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第118号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第119号 平成24年度郡上市鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第119号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決

することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第119号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第120号 平成24年度郡上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第120号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第120号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第121号 平成24年度郡上市大和財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第121号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第121号は原案のとおり認定することに決定しました。

議案第122号 平成24年度郡上市白鳥財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第122号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第122号は原案のとおり認定することに決定しました。

議案第123号 平成24年度郡上市牛道財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第123号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第123号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第124号 平成24年度郡上市北濃財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第124号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第124号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第125号 平成24年度郡上市石徹白財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第125号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第125号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第126号 平成24年度郡上市高鷲財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第126号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第126号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第127号 平成24年度郡上市下川財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第127号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第127号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第128号 平成24年度郡上市明宝財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第128号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第128号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第129号 平成24年度郡上市和良財産区特別会計歳入歳出決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第129号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第129号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第130号 平成24年度郡上市水道事業会計決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第130号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第130号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

議案第131号 平成24年度郡上市病院事業等会計決算認定についてに対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第131号に対する委員長の報告は原案を認定するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第131号は原案のとおり認定することに決定いたしました。

ここで暫時休憩をいたします。開会を10時45分と予定をさせていただきます。よろしくお願いたします。

(午前10時34分)

○議長(清水敏夫君) 会議を再開いたします。

(午前10時45分)

○議長(清水敏夫君) 6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 先ほどの私の国保税の引き下げを求める討論を行ったんですが、「引き上げは可能である」という発言をしたようでございますので、訂正をして「引き下げは可能である」というようになおさせていただきます。よろしく申し上げます。

○議長（清水敏夫君） 訂正でございますのでよろしくお願いをいたします。

◎議案第141号から議案第142号までについて（委員長報告・採決）

○議長（清水敏夫君） それでは、日程35、議案第141号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内①）と日程36、議案第142号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内②）を一括議題とします。

ただいま一括議案としました2議案は、総務常任委員会に審査を付託してありますので、委員長より審査の経過と結果について報告をいただきます。

総務常任委員長、8番 山田忠平君。

○8番（山田忠平君） それでは、平成25年第4回郡上市議会定例会において審査を付託されました、その他の議案2件について、9月26日、総務常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について総務常任委員会の報告をさせていただきます。なお、経過については主な内容を報告といたします。

その他の議案。

議案第141号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内①）。

八幡振興統括から、寄附及び売買により取得している2筆の土地については、取得以前から愛宕神社の社殿が建立されているため、神社敷地分を分筆して愛宕神社に無償譲渡するとの説明を受けました。

委員から、行政が宗教団体の土地を取得したことについて質問があり、当時は、規制をそれほど厳格に捉えていなかったのではないかと、愛宕神社から売買により取得したときも、神社敷地を分筆登記せずに取得してしまったのではないかととの説明がありました。

譲渡に係る費用についての質問があり、宗教法人である証明をとれば登記手数料は免除される。既に敷地は測量しており、登記は職権で行うため費用はほとんどかからないとの説明がありました。

愛宕神社敷地の確定についての質問があり、氏子代表と現地立ち会いのもとに境界を確定して面積を出しているとの説明がありました。

愛宕神社までの参道がないために飛び地となることについて質問があり、公園として活用するため、神社へ行けない状態ではない。市としても通行を制限するつもりはないとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

続きまして、議案第142号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内②）。

八幡振興統括から、遍照殿を建立するに当たって、宗教法人化していなかったため、土地を旧赤谷組から八幡町に寄附により譲渡されたものと思われる。現在は、宗教法人化されているため、所有権移転を行うとの説明を受けました。

委員から、境界の確定について質問があり、立ち会いのもとで境界を確定しているとの説明がありました。

また、登記面積と実測面積の違いについて質問があり、面積の違いはよくあることであり、特に理由があるものではないとの説明がありました。

進入路についての質問があり、都市計画区域であり接道が必要ではあるが、接道するためには愛宕駐車場の一部を渡さなければならなくなるため、市としては活用にあいまいを生じる。現在と同様に、接道には当てはまらない土地であることを承知で受け取っていただくこととなるとの説明がありました。

以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で原案のとおり可とすることに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告をいたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。郡上市議会総務常任委員会委員長 山田忠平。

以上であります。ありがとうございました。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

それでは、委員長報告に対する質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 質疑なしと認め、討論、採決を行います。

議案第141号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内①）に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第141号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 異議なしと認めます。よって、議案第141号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

議案第142号 財産の無償譲渡について（八幡町島谷字愛宕前地内②）に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

議案第142号に対する委員長の報告は原案を可とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議案第142号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎請願第2号から陳情第3号までについて(委員長報告・討論・採決)

○議長(清水敏夫君) 日程37、請願第2号 消費税増税の実施中止を求める請願から、日程40、陳情第3号 免税軽油制度の継続を求める陳情書までの4件を一括議題といたします。

ただいま一括議題としました4件は、所管の常任委員会に審査を付託してありますので、委員長より審査の経過と結果について報告いただきます。

初めに、総務常任委員長、8番 山田忠平君。

○8番(山田忠平君) それでは、報告いたします。

平成25年第4回郡上市議会定例会において、審査を付託されました請願1件について、9月26日、総務常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について報告をいたします。なお、経過につきましては主な内容を報告をいたします。

請願関係。

請願第2号 消費税増税の実施中止を求める請願。

紹介議員から、今の日本に必要なことは低所得者ほど税負担がふえ消費を冷え込ませる消費税の増税を中止し、内需を拡大し賃上げを行い、中小企業・農漁業者の営業を守り、社会保障を充実させること。そのために、担税力のあるところから応分の税負担をすること。国民の所得をふやして経済を立て直すことを要望するものであるとの説明を受けました。

委員から、消費税を上げないときのリスクも考えなければいけない。国債などに影響が出るとの意見がありました。膨れ上がる医療や介護など社会保障費をどのように賄っていくのかも考えなくてはならないとの意見がありました。

消費税増税は、景気が上向きである今がよいとの意見がありました。

消費税は、自治体配分も見込まれている。郡上市にとっても収入増となり、福祉の分野にも充てていけるとの意見がありました。

以上、審査の経過と結果、本委員会としては賛成少数で請願第2号を不採択とすることに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告をいたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。郡上市議会総務常任委員長 山田忠平。

以上であります。ありがとうございました。

○議長(清水敏夫君) 続きまして、産業建設常任委員長、15番 渡辺友三君。

○15番（渡辺友三君） それでは、建設産業常任委員会、付託を受けております陳情2件につきまして、9月24日、産業建設常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について御報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

陳情。

陳情第1号 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択についてに関する陳情。

議会事務局に陳情書を朗読させ、県内他市の関係意見書の提出状況について説明を受けました。

また、林務課長から、林野庁の全国森林環境税創設の取り組み状況について、計画的な森林整備等を実施していくためには多様な予算措置が必要で、「石油石炭税率の特例」による税収の一定割合を、森林整備・保全等の予算に配分できるような仕組みの構築を求めたものであるとの説明を受けました。

委員会から、同様の意見書は、昨年の9月定例会でも提出しており、本来であれば、一度採択した意見書は、内容を変更しない限り失効しないが、地方の財源確保ということであり、郡上市のように森林面積の広大なところでは継続して声を出していくべきであるとの意見がありました。

意見書には、郡上市の現状に見合った内容も含めて提出してほしいとの意見がありました。

審査の結果、本委員会としては全会一致で陳情第1号を採択することに決定いたしました。

陳情第3号 免税軽油制度の継続を求める陳情書についてであります。

議会事務局に陳情書を朗読させ、県内他市の関係意見書の提出状況の説明を受けました。

委員から、税の種類と免税に係るシステムについて質問があり、軽油引取税は県に直接納めるもので、免税は、税金を免除される軽油を使用する者が事前に県税事務所に申請し、免税軽油使用者証の交付を受ける必要があるとの説明がありました。

農業用機械の使用実績について質問があり、以前、農業法人から2件相談があったが、免税状況については市を経由せず県税事務所へ直接申請されるため、個人情報でもあり、実績は把握できないとの説明がありました。

スキー産業だけでなく、農業についても関係してくることであるので、市として広く農業者にも周知する必要があるのではないかとの意見がありました。

審査の結果、本委員会としては全会一致で陳情第3号を採択することに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について御報告をいたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。産業建設常任委員会委員長 渡辺友三。

以上です。

○議長（清水敏夫君） 続きまして、文教民生常任委員長、9番 村瀬弥治郎君。

○9番（村瀬弥治郎君） それでは、文教民生常任委員会の報告をいたします。

平成25年第4回郡上市議会定例会において、審査を付託されました陳情1件について、9月25日に文教民生常任委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果について報告いたします。なお、経過については主な内容を報告いたします。

2、陳情。

陳情第2号 原発事故・子ども・被災者支援法に関する陳情書。

議会事務局に陳情書を朗読させ、陳情書の受理日以降の8月30日に、「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」第5条第1項に規定されている、「被災者生活支援等施策の推進に関する基本的な方針（案）」が作成され、パブリックコメント、説明会の開催、意見募集がされているが、その状況や結果は公表されていないとの説明を受けました。

委員から、国が現在取り組んでいるため継続審査とし様子を見てはどうかとの意見がありました。以上、審査の結果、本委員会としては全会一致で継続審査とすることに決定をいたしました。

以上、委員会の経過と結果について報告いたします。平成25年10月3日、郡上市議会議長 清水敏夫様。郡上市議会文教民生常任委員会委員長、9番 村瀬弥治郎。

以上でございます。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

では、報告が終わりましたので、委員長報告に対する質疑を行います。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 質疑なしと認め、討論、採決を行います。

請願第2号 消費税増税の実施中止を求める請願に対する討論の通告がありますので、討論を許可します。

6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 消費税増税反対の請願について賛成討論を行います。

まず、何よりも、今、景気がよいとは言えない日本の経済が、消費税増税によって大きく悪化することが予測されます。アベノミクスが景気をよくしつつあるとの見方もありますが、一般の国民には、少しも景気がよくなったという実感はありません。

むしろ、アベノミクス効果の円安から輸入製品の値上がりが、生活必需品の物価を押し上げており、余計に苦しくなっています。ガソリンや大豆などの価格が上がっており、生活に大きな影響を与えています。

増税に対する世論調査でも50%を超える反対があり、小売業の80%が業績に悪影響を及ぼすと答えています。

景気回復に逆行する消費税増税はやめなければならないと考えます。

2つ目に、消費税は所得の低い人により重い税金で、先ほどの委員長報告ではちょっと違うように書いてありましたけれども、重いと言ったつもりなのですが、重い税金で、税金としては最もふさわしくないやり方です。

諸外国の消費税は、生活必需品の税額はないか低く抑えられており、消費税の負担がそんなに大きくないと受けとめられています。

しかし、日本の消費税は全てのものに課税され、特に、中小企業にとって消費税をきちんと課税できず、その分、自分の身を削って納めているのが現状となっています。

政府も、経済の腰折れを心配し、消費税の2%、5兆円を経済対策として用意することにしてはいますが、これは、消費税増税すれば、必ず景気に悪い影響を与えることを政府みずから認めているのです。

消費税が5%になってから、この17年間で、消費税の総額は84兆円ふえましたが、その間に、それ以外の税収が190兆円も減ってしまいました。そのため、首相周辺からも、消費税引き上げを見送る意見が出ています。また、自民党の国会議員の中にもそうした声があります。

郡上市議会からも、消費税反対の声を出していただき、景気をよくするための真剣な努力を一緒に進めていただきたいと思います。

安倍政権は、消費税増税のための追加的な経済対策の目玉として、復興特別法人税を、これまでは3年間課税することにしていましたが、これを2年でやめるとしています。

所得税の復興税は、25年間課税されます。住民税の復興税も10年間です。法人税の復興税は3年間のものを1年早く終了させるもので、国民には理解できないものであります。

消費税やむなしの意見もあります。消費税を上げずにどうやって社会保障費用を確保するのかという疑問が出されます。私は、今こそ、これまで繰り返してきた消費税増税と大企業優遇のやり方を変え、国民の所得をふやす本格的な景気回復の道、消費税に頼らない社会保障充実の道を目指す必要があると強く訴えたいと思います。

その第1の柱は、賃上げと安定した雇用の拡大で働く人の所得をふやすことです。ため込み過ぎた大企業の260兆円の内部留保のごく一部、1%だけで、8割の企業が月1万円の賃上げが可能となります。これは、大企業にとっても、労働者にとっても大きなメリットとなります。

内需が拡大すれば、企業の利益アップにつながります。また、中小企業の最低賃金の引き上げのため国の支援を充実させることです。アメリカでは、5年間で8,800億円の支援を行い、最低賃金を200円引き上げています。

第2の柱は、消費税増税に頼らない別の財源確保の道があるということです。大型開発、軍事費、政党助成金など、無駄遣いにメスを入れれば約3兆円削減できます。

大金持ちや大企業に優遇されている不公平税制の改革で約10兆円、景気回復後の温まった家計に

力で、所得税の累進性を強化する改革を行って約6兆円、以上を合わせれば約20兆円の財源確保を行うことができます。さらに、経済成長が進めば、10年後には20兆円の自然増が可能となります。合わせて40兆円の財源をつくり出すことができます。

第3の柱は、社会保障の連続改悪にストップをかけ、現役世代も高齢者も安心できる社会保障制度をつくることです。安心できる社会保障に支えられて、消費もふえ景気回復につながります。

社会保障の拡充は、第1、第2の柱の改革を進めれば、消費税を増税しなくても十分可能です。議員の皆さんの理解をお願いし、御一緒に日本経済の改善に向け検討を進めていただくことをお願いし、この請願を採択していただくようお願いをして賛成討論とします。

○議長（清水敏夫君） 反対討論ありますか。

12番 上田謙市君。

○12番（上田謙市君） 消費税増税の実施中止を求める請願に対する、ただいまの山田委員長報告に賛成の立場で意見を述べます。

今回、請願の審査に当たり、市民の要望を真摯に受けとめるために、請願者本人に委員会への出席を求め、その趣旨と内容を直接聴取したいという方針で望まれた総務常任委員会の委員長、副委員長の姿勢に、議会改革という観点から敬意をあらわす次第であります。

残念ながら、審査の当日、請願者にあつてはアクシデントが生じまして出席できなくなったことでもありますけれども、そのために、請願の内容についてはただいま反対の討論をされました紹介議員の野田議員との間で論議となりました。お昼の休憩を挟みながら十分な時間をかけて議論ができたことは、委員会活動の充実という課題に向けた積極的な取り組みの証左であると実感をいたした次第であります。

さて、そうした経緯で審査した請願ではありますが、私那不採択という判断に至った今回の消費税の引き上げはやむを得ないと考える根拠を3点述べます。

1点目は、請願者は、増税すると消費が低下しデフレは一段と進行し、地域経済や国の財政は危機的な状況になるとの見解であります。今や、1,000兆円を超えると言われる国と地方の借金を放置している現状にこそ、財政の危機的な状況を感じております。

増税による景気の落ち込みを避けるために、現在、国では5兆円規模の経済対策を初め、勤労者の収入をふやすための法人税減税や低所得者と言われる人への給付措置などが検討されており、そうした施策が請願者の懸念を回避すると考えております。

2点目は、野田議員も触れられましたが、全国世論調査の結果による判断であります。共同通信社が7月22、23日の両日、実施した調査によりますと、「あなたは消費税率を来年4月に5%から8%に引き上げることにどう思いますか」という問いに「予定どおりに引き上げるべきだ」と回答した人が22.5%、「予定どおり来年4月に引き上げるべきだが引き上げ幅は小さくすべき

だ」が22%、「税率を引き上げるべきだが引き上げの時期は先送りするべきだ」が22.7%、「現在の税率5%を堅持すべきだ」は29.1%、「その他」は3.7%という結果でありました。

この結果をどう判断するかであります。私は、消費税引き上げという、そのこと自体に反対する人は29.1%であり、国民の過半数は消費税の引き上げということについては積極的な反対ではないと考え、税と社会保障の一体改革による増税はやむを得ないと判断していると思っております。

3点目は、消費税引き上げに伴う郡上市財政への影響と申しますか、効果であります。このことは私の一般質問で答弁をいただいておりますので、それを要約いたしますと、消費税が5%から8%に引き上げられると地方消費税は平成26年度に2.4億円、普通交付税は平成27年度に5,000万円増収になるとの試算が出ております。

請願書では、医療や年金などの社会保障を充実することを求めています。今回の増収分は、国、地方ともに、医療、年金、介護、子育て支援に充当することが法律で明記されており、例えば、郡上市における平成24年度のこの4分野の事業実績は57億円で、そのうち36億円が一般財源であり、その額は、毎年2から3億円ふえているので、増収分は、これまでの施策の維持と存続に充てることになると、日置市長が答弁をされております。

そうしたことを勘案すると、消費税の引き上げは、私たちにとって困ることではあります。増収が乏しい郡上市のような自治体では、今後の安定した財源の確保になると判断をされます。とは言いますものの、逆進性が指摘される消費税は、収入が少ない人ほど生活を困難にしますし、課税事業者の価格転嫁対策も懸念をされます。

しかしながら、子や孫の将来を考えますと、国の借金は現役の私たちが協力をして早急に返していく必要があることも事実であります。

そうしたことを総合的に考えますと、今回の消費税引き上げはやむを得ないと判断いたします。

以上の意見を申し述べ、委員長報告に賛成、請願の意見書提出に反対の討論といたします。議員諸氏の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（清水敏夫君） そのほか討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 討論なしと認め、討論を終結し採決いたします。

請願第2号に対する委員長の報告は原案を不採択とするものですが、採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（清水敏夫君） ありがとうございます。賛成少数と認めます。よって、請願第2号は不採択とすることに決定いたしました。

陳情第1号 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に

関する陳情に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

陳情第1号に対する委員長の報告は原案を採択するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、陳情第1号は採択することに決定いたしました。

陳情第2号 原発事故・子ども・被災者支援法に関する陳情書に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

陳情第2号に対する委員長の報告は継続審査とするものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、陳情第2号は継続審査とすることに決定いたしました。

陳情第3号 免税軽油制度の継続を求める陳情書に対する討論の通告はありませんので、討論を終了し採決いたします。

陳情第3号に対する委員長の報告は原案を採択するものであります。委員長の報告のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、陳情第3号は採択することに決定いたしました。

◎議発第10号について(採決)

○議長(清水敏夫君) 日程41、議発第10号 議員派遣についてを議題といたします。

議員派遣について、会議規則第169条の規定により申し出があります。

お諮りをします。申し出のとおり議員を派遣することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、申し出のとおり議員を派遣することに決定いたしました。

◎議発第11号について(委員会付託)

○議長(清水敏夫君) 日程42、議発第11号 議会運営委員会の閉会中の所掌調査及び常任委員会の閉会中の所管事務調査についてを議題といたします。

議会運営委員会から郡上市議会会議規則第111条の規定により、本会議の会期日程等、議会の運営に関する事項について、また、各常任委員会から郡上市議会会議規則第111条の規定により、閉会中の継続審査についてお手元に配付のとおり申し出がありました。

お諮りをいたします。委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

◎議報告第8号について

○議長(清水敏夫君) 日程43、議報告第8号 諸般の報告について。

議員派遣等報告を別紙写しのとおり提出しましたので、お目通しいただき、報告にかえます。

◎議報告第9号について

○議長(清水敏夫君) 日程44、議報告第9号 中間報告について。

議会行政改革特別委員会の視察研修報告を別紙写しのとおり提出しましたので、お目通しいただき、報告にかえます。

ここで日程の追加をしたいと思います。

議発第12号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書について、議発第13号 軽油免税制度の継続を求める意見書について、議発第14号 地方税財源の充実確保を求める意見書について、この3件を日程に追加したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認め、日程に追加いたします。

追加日程につきましては、お手元に配付してありますので、よろしく願いいたします。

◎議発第12号について(議案朗読・提案説明・採決)

○議長(清水敏夫君) 日程45、議発第12号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書についてを議題といたします。

事務局に朗読させます。

議会事務局長 池場康晴君。

○議会事務局長(池場康晴君)

議発第12号

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書について
表記について、地方自治法第99条及び、郡上市議会会議規則第14条の規定に基づき、別紙意見書
を提出する。

平成25年10月3日提出

提出者 郡上市議会議員 渡 辺 友 三

賛成者 郡上市議会議員 鷲 見 馨

賛成者 郡上市議会議員 兼 山 悌 孝

郡上市議会議員長 清 水 敏 夫 様

「森林吸収源対策および地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書（案）

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、わが国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など、「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、わが国は、平成25年度以降においても、京都議定書目標達成計画に掲げられたもの（第1約束期間における温室効果ガス排出削減義務6%のうち、3.8%を森林吸収量で確保）と同等以上の取り組みを推進することとしている。

このような経緯を踏まえ、「地球温暖化対策のための石油石炭税の税率の特例措置」が平成24年10月に導入されたが、用途は、CO₂排出抑制対策に限定されており、森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保については、「早急に総合的な検討を行う」との方針に止まっている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠であり、総面積1,031平方キロメートルのうち9割が森林を占め、長良川のみならず飛騨川、庄川、九頭竜川の各源流域に位置する本市もこうした役割を担っている。

しかしながら、本市は人工林面積が県内一広く、間伐をはじめとした森林整備等を必要とする地域が多くあることや、多くの市町村と同様に、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足などの厳しい情勢があり、その結果、山そのものが荒廃し、頻繁に発生する自然災害等の脅威に国民の生命財産が脅かされるといった事態が生じている。

これを再生するとともに、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定

的な財源確保を講ずることが急務である。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年10月3日

岐阜県郡上市議会

提出先

内閣総理大臣

財務大臣

総務大臣

農林水産大臣

環境大臣

経済産業大臣

衆議院議長

参議院議長

以上です。

○議長（清水敏夫君） 提案者の説明を求めます。

15番 渡辺友三君。

○15番（渡辺友三君） ただいま事務局より朗読していただきました意見書でありますけれども、重複する点もございますが、昨年の10月に、地球温暖化対策のための税として導入されまして、その税の用途につきまして、郡上市議会からも、今回と同じ9月議会をもちまして意見書の提出を行ってきておるところであります。

また今回も、昨年に引き続いての意見書の提出をここで提案するものでありますけれども、内容が二酸化炭素の排出抑制の対策面だけでなく、健全な森林を育て二酸化炭素を吸収させる対策も重要であることから、市町村が担う吸収源対策に対しましても、税財源を譲与されるよう求めるものでございます。そのような思いで意見書を提出したところでもありますけれども、いま一步実現されていないのが現状であります。

重複しますが、我が郡上市は面積の90%以上を森林が占め、再生可能な資源である木材を供給し循環型社会づくりに寄与するだけでなく、良質な水を育み二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するなど、さまざまな機能を担っています。

しかし、近年、林業の低迷や地域の過疎化、高齢化等により、手入れが行き届かなくなった森林は林の中が暗くなり、下草も生えなくなり、土砂の流出が進むなど、森林機能の低下が進行しており、市民生活や自然環境にも、さまざまな悪影響を及ぼすことが懸念をされております。

手入れ不足となっている人工林で適切な間伐を行い、林の中を明るくして、下草や広葉樹の育成を促すことによって、土砂の流出を抑え、保全・保水力を高め、二酸化炭素の吸収を促進し、地球温暖化防止の役割を十分果たすことを可能にするためにも、森林の整備が必要であり、その森林整備の地方財源として、税収の一定割合を森林面積に応じて譲与される仕組みづくりを求めて意見書を提出するものでございますので、議員各位の御賛同をお願いし、提案説明とさせていただきます。

以上です。

○議長（清水敏夫君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。議発第12号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 異議なしと認めます。よって、議発第12号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 討論なしと認め、採決いたします。

議発第12号について、原案のとおり可とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 異議なしと認めます。よって、議発第12号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎議発第13号について（議案朗読・提案説明・質疑・採決）

○議長（清水敏夫君） 日程46、議発第13号 免税軽油制度の継続を求める意見書についてを議題といたします。

事務局に朗読させます。

議会事務局長 池場康晴君。

○議会事務局長（池場康晴君）

議発第13号

免税軽油制度の継続を求める意見書について

表記について、地方自治法第99条及び、郡上市議会会議規則第14条の規定に基づき、別紙意見書を提出する。

平成25年10月3日提出

提出者 郡上市議会議員 渡辺友三

賛成者 郡上市議会議員 田中和幸

賛成者 郡上市議会議員 古川文雄

郡上市議会議長 清水敏夫様

免税軽油制度の継続を求める意見書（案）

これまで郡上市のスキー場産業をはじめ、農林業などの経営に貢献してきた免税軽油制度が、平成21年の税制改正において目的税から普通税に変更され、平成24年3月をもって免税措置が廃止されることとなっていたが、3年間の免税措置延長が認められ現在に至っている。

使用している軽油は、軽油引取税（1リットル当たり32円10銭）が免除される免税軽油制度の適用を受けており、農業用の機械（耕運機、トラクター、コンバイン、栽培管理用機械、畜産用機械など）や船舶、倉庫で使うフォークリフト及び重機、スキー場ゲレンデ整備用圧雪車、降雪機など、道路を走らない機械燃料の軽油は、申請をすれば免除が認められている。

今後、この免税軽油制度が廃止されると、本市のスキー・スノーボード等の冬季観光産業や農林業などの経営は大きな負担増が強いられ、今でさえ困難な観光産業、農林業がますます深刻な状況になることは避けられない。

さらにこの制度は、スポーツの振興と地域活性化、雇用促進の観点からも有効であり、農林業や観光産業など幅広く経済全般に影響が及ぶことから、その継続が強く望まれている。

よって、国においては、免税軽油制度を継続するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年10月3日

岐阜県郡上市議会

提出先

内閣総理大臣

財務大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
衆議院議長
参議院議長

以上でございます。

○議長（清水敏夫君） 提案者の説明を求めます。

15番 渡辺友三君。

○15番（渡辺友三君） 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について、提案説明をさせていただきます。

平成23年9月議会に提出され採択されておるところでありまして、内容は陳情書に記されておると同様でございました。今回、提出する意見書においても、ただいま事務局より朗読していただいたとおりでありますけれども、郡上市内において索道事業、要するにスキー場だけでなく、木材加工業や木材市場、そして林業、また鉱物採掘業、これ採石業でありますけれども、そういうところへも大きな影響を及ぼしているということが現実としてわかってまいりました。

農業においては2業者のみで、小規模農家にとっては手続の問題上から申請がなく恩恵も少ないところでもありますけれども、先ほどの採択の折にも申し述べましたように、この点については、もう少し農家のほうへもPRしていくべきではないかというような意見もございましたように、恩恵を少しでも多くしていくのも必要でないかというようなことを思っております。

いずれにしましても、市内業者への効果も大きなことから、この免税軽油制度の継続を求めるものでございまして、議員各位の御賛同をお願いし、提案説明とさせていただきます。

以上です。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

質疑を行います。

（挙手する者あり）

○議長（清水敏夫君） 6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 非常に業者にとっては影響のある内容だというように思います。それで、その要望もよくわかるんですが、委員会報告などでも、例えば、農業用の機械使用実績についてはよくわかってないと、直接申請されるためにというようなことですし、ちょっと傍聴させてもらったときに、スキーのリフト等は、どの業者かわかりません、全部かどうかわかりませんでした、

2,200万円の免税になつるといふのを聞きました。そういう点でいうと、少し、そういう実際の数字がなかなかつかめんと思ひますけれども、大まかには、そんだけが、現実、1リットル32円、これが大体推測できるものかどうか、ちょっとその辺についてわかることがあれば、お聞きしたいと思ひます。

実際の実態が、どれぐらいこれによつて恩恵を得ているか。お願ひをします。

(挙手する者あり)

○議長(清水敏夫君) 15番 渡辺友三君。

○15番(渡辺友三君) 実際の実数ということでございます。

市のほうでは、やはり直接県へということで、実態はわからないというようなことございましてけれども、索道事業、スキー場であります、減免されておる事業所、減免を受けている事業所、11事業所でありまして、減免額が2,295万1,500円であります。農業が2事業所でありまして19万2,600円、これ数字まで言つていいんかな、金額。

(「金額が聞きたいんです」と議長の声あり)

(「大体がわかれば」と6番議員の声あり)

(「大体がわかれば」と議長の声あり)

○15番(渡辺友三君) そうですか、そうなら……

(発言する者あり)

○15番(渡辺友三君) これは、市で関係なく調べたところでございますので、木材加工業者が3事業所で46万4,808円、木材市場が2事業所で211万1,057円、林業に関する3事業所で383万4,024円、鉱物採掘業といいますか採石4業者で621万5,844円ということで、大体3,570万円ほどの市の業者への免税処置があるというようなことでございますので、よろしくお願ひします。

○議長(清水敏夫君) よろしいですか。

(「はい」と6番議員の声あり)

○議長(清水敏夫君) そのほかございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 質疑なしと認めます。

お諮りします。議発第13号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よつて、議発第13号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

討論を行います。討論ありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 討論なしと認め、採決いたします。

議発第13号について、原案のとおり可とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(清水敏夫君) 異議なしと認めます。よって、議発第13号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

◎議発第14号について(議案朗読・提案説明・質疑・討論・採決)

○議長(清水敏夫君) 日程47、議発第14号 地方税財源の充実確保を求める意見書についてを議題といたします。

事務局に朗読させます。

議会事務局長 池場康晴君。

○議会事務局長(池場康晴君)

議発第14号

地方税財源の充実確保を求める意見書について

表記について、地方自治法第99条及び、郡上市議会会議規則第14条の規定に基づき、別紙意見書を提出する。

平成25年10月3日提出

提出者 郡上市議会議員 山 田 忠 平

賛成者 郡上市議会議員 村 瀬 弥治郎

賛成者 郡上市議会議員 森 喜 人

郡上市議会議長 清 水 敏 夫 様

地方税財源の充実確保を求める意見書(案)

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては下記事項を実現されるよう強く求める。

記

1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

(1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。

(2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。

(3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。

(4) 依然として厳しい地方経済を活性化する必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持させること。

(5) 地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは避けること。

2. 地方税源の充実確保等について

(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、地方と国の税財源配分を5対5とすること。

その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。

(2) 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税源控除を導入しないこと。

(3) 固定資産税は、市町村の根幹税目であることから、その安定的確保を図ること。

特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。

(4) 法人住民税は、均等割の税率を引き上げること。

(5) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。

(6) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとっては貴重な税源となっていることから、現行制度を堅持すること。

(7) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年10月3日

岐阜県郡上市議会

提出先

内閣総理大臣

財務大臣

総務大臣

内閣官房長官

提出先内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

以上でございます。

○議長（清水敏夫君） 提案者の説明を求めます。

8番 山田忠平君。

○8番（山田忠平君） ただいま意見書案の朗読がされましたが、地方税財源の充実を求める意見でありますけれども、地方に求められるいろいろな課題は特に多く、また、その中でも、国土を守り、いろいろな役割は、課題が多く求められているところであります。

そういった反面、特に地方交付税におきましては、わかりにくく、また、減額の一途をたどるような感もあるところでありますが、ぜひとも、地方交付税についてはしっかりとした一般財源の総額の増額を求め、しっかりと地域が取り組んでいける体制を整える。

また、地方税源の充実についても、なかなかいろいろな形で財源が求めにくい。そういった地方でありますので、地方の税財源については、不安定を断ち切り充実した地方財源の確保を求める。

そういった形で、今回の意見書を提出するところでありますので、議員各位におかれましても賛同いただきますよう、よろしく願いいたします。

○議長（清水敏夫君） それでは、質疑を行います。

（挙手する者あり）

○議長（清水敏夫君） 6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 質問をいたします。

ずっと1のところの中の（1）から（5）までは大体わかるんですけど、2の地方財源の充実確保の中の、「（1）地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし」と書いてありまして、「その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること」と書いてありますが、これは、要は、財源の偏在性というのは誰にも広くという意味だと思えますけれども、地方消費税の充実ということは、地方消費税を一層広げていくというやつではないかというように思います。

それから、2の4番目ですが、「法人住民税は、均等割の税率を引き上げること」、これは、中小企業にとっては大きな負担になるのではないかというように思います。その点についてはどんな論議をされたのかをお聞きをしたいと思います。

（挙手する者あり）

○議長（清水敏夫君） 8番 山田忠平君。

○8番（山田忠平君） 地方税源の充実確保についての地方消費税の充実、それから税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築をすることではありますが、消費税、先ほど議論がありましたように、8%、いよいよ4月からになります、そういったことを含めて、地方に回る消費税については、しっかりと、税収が安定的に地方税体系に構築されるように求めるものでありますし、それから、あわせて、法人税の住民税は均等割の税率を引き上げることということになりますが、法人税については、均等割を含めた税率が低いという段階の中でありますので、今、確かに法人税減税という話も浮上しておるところでありますけれども、これには、地方にとっては、地方財源の大きな課題でありますので、同じくあわせて引き上げをしていただきたいということでもありますので、よろしく願いいたします。

（挙手する者あり）

○議長（清水敏夫君） 6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） 要は、消費税の充実ということは、今後も拡大をしていくというように思われますし、法人税の税率均等割を引き上げるということは、今言われたんですが、中小企業にとっては大きい負担増というようになっていくというように思いますので、大変心配しております。

これについては、後ほどまた討論を行わせていただきたいと思います。

○議長（清水敏夫君） そのほかございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。議発第14号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 異議なしと認めます。よって、議発第14号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

討論を行います。討論はありませんか。

（挙手する者あり）

○議長（清水敏夫君） 6番 野田龍雄君。

○6番（野田龍雄君） この1の一般財源総額の確保については賛成であります。2番目の各項目はほとんど賛成ですけれども、（1）と（4）については、先ほど質問をいたしましたように、国民に対する負担増が予定されることですので、消費税を拡大するという意味ととりまして、このことには賛成できません。（4）の均等割の税率、法人住民税、引き上げることにも賛成できませんので、もしこの部分を、1番と4番を削っていただければ賛成をしたいと思いますが、このままだと

反対をいたします。

○議長（清水敏夫君） 原案に賛成の討論を許可いたします。

（挙手する者あり）

○議長（清水敏夫君） 9番 村瀬弥治郎君。

○9番（村瀬弥治郎君） この案に賛成の立場から討論を申し上げます。

ただいま、消費税のことを申し上げられましたが、これは消費税の増税ということではなくて、消費税の内訳、国と地方の中のバランスの確保ということでございますので、その辺を御理解いただきたいと思っておりますし、法人税のことに関しましては、確かに、私たちも、国の今の流れの中で、大企業優先というようなことを聞くところもございませけれども、そういったものを控えながらも、そういったものをなしということで、私たちは求めているところでございますので、この辺の御理解をよろしく願います。

○議長（清水敏夫君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（清水敏夫君） 討論なしと認め、討論を終結し採決いたします。

議発第14号について、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（清水敏夫君） ありがとうございます。賛成多数と認めます。よって、議発第14号は原案のとおり可とすることに決定いたしました。

13番 武藤忠樹君。

○13番（武藤忠樹君） 先ほどの議報告第8号にちょっと記載ミスがございましたので、訂正だけをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

（「議報告8号」と議長の声あり）

○13番（武藤忠樹君） 議報告8号 諸般の報告についてでございます。

4ページ、私が派遣報告書を出しておるわけですがけれども、派遣の内容について、消防操法大会です。内容につきまして「大和」とありますけれども、「美並」の間違いですので訂正をお願いいたします。

○議長（清水敏夫君） はい、ありがとうございます。

「大和」とありますのは「美並」ということで訂正をお願いいたします。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎市長挨拶

○議長（清水敏夫君） それでは、以上で本日の日程は全て終了いたしました。

ここで、市長より御挨拶をいただきます。

市長 日置敏明君。

○市長（日置敏明君） 平成25年第4回の郡上市議会定例会の閉会に当たりまして御挨拶を申し上げます。

去る9月9日開会以来、本日に至るまで25日間にわたりまして、議会におかれましては、終始御熱心かつ詳細にわたって御審議をいただきました。提出をいたしました条例改正案、補正予算案、平成24年度の決算認定案等々、各議案につきましては、全て可決または認定をいただきまして、ありがとうございました。

会期中にいただきました御意見、御提案につきましては、今後の市政運営の中で、それを踏まえてまいりたいと存じます。

先ほど来、いろいろと御議論がございましたが、一昨日、来年4月からの消費税、これは地方消費税も含めての全体でございますけれども、その税率を、現在の5%から8%へと、3%引き上げることについての政府の決定がございました。これから、国、地方を通じまして、いろんな分野にわたりまして負担とサービス、こうしたことに対するさまざまな議論が展開されてまいるというふうに考えられますけれども、市といたしましても、今後、的確な情報収集をしながら、適切に対応してまいりたいと考えております。

議員の皆様方には、これからまだまだ秋の諸行事等も控えており、多忙な時期が続くと存じますが、健康に御留意をいただきまして御活躍くださいますよう、お願いを申し上げまして、閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（清水敏夫君） 御苦労さまでした。

◎議長挨拶

○議長（清水敏夫君） 平成25年第4回郡上市議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今定例会は、去る9月9日から本日まで25日間にわたり、23会計の決算認定を初め、条例改正、補正予算など、市政の諸案件につきまして極めて慎重に御審議いただき、全議案滞りなく議了することができました。議員各位の御協力に深く感謝を申し上げます。

また、齋藤、古川、両監査委員には、決算審査から決算認定となる本定例会まで長期にわたり、まことに御苦労さまでした。心より御礼を申し上げます。

日置市長を初め執行機関の各位におかれましても、常に真摯な態度をもって審議に御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

今定例会を通じ、議員各位から、一般質問や審議の過程で述べられました意見、要望につきましては、今後の市政の執行に十分反映されますよう要望する次第であります。

また、議員各位並びに執行者各位におかれましては、健康に留意をいただきまして、今後ますますの御活躍を、御祈念を申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

◎閉会の宣告

○議長（清水敏夫君） 以上で本日の会議を閉じます。

これをもって平成25年第4回郡上市議会定例会を閉会します。御苦労さまでした。

(午前11時56分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

郡上市議会議長 清 水 敏 夫

郡上市議会議員 兼 山 悌 孝

郡上市議会議員 野 田 龍 雄